



みらいを創る 畜産

西谷山支店管内 堀脇 貴憲さん(28歳)

幼いころから自宅にいる馬の蹄鉄を打つ職人さんの仕事を見て「カッコいいなあ」と憧れ、工業高校を卒業後1年間栃木県のJRAにある馬の爪切り専門の学校で装蹄師になるためのノウハウを学び念願の資格を取得しました。

その後、鹿児島に戻り数年間、電気関係の仕事しながら牛や馬の世話をしているうちに「面白そうだな」と就農を考え始めたときに、人工授精師の資格を取りたいと1ヶ月間勉強をして資格を取得し、本格的に畜産業をしようかと決めました。

現在は、繁殖農家として2018年から畜産業を営む堀脇さん。谷山にあった厩舎と牛舎を吹上に移し、慈眼寺にある自宅から毎日通勤しています。今は父親が飼っている馬と牛14頭(親牛9頭・子牛5頭)を同じ屋根の下で飼育管理しています。

何事も経験だと牛の爪切りも自分ですが、時々やり過ぎて血が出てしまうこともあり、日々学ぶことは多いです。「自分でやらんといかん」と2020年の秋頃から人工授精にも挑戦しています。

また、先輩農家や友達の協力をもらいながら牛舎作りにも挑戦しました。ユニボを使って基礎を作り、近所の人から間伐材をもらいコツコツと牛舎作りを進め

ました。設計で悩んだときは、YouTubeからヒントを得て、半年で完成しました。

就農して数年、いま自分が好きなことが出来るのは、人に恵まれ多くの人に助けてもらっているからなので、常に感謝の気持ちでいっぱいです。

思うようにいかないことも多いですが、試行錯誤しながら頭の中にあるパズルを1個1個埋めて自分が目指す畜産業に繋げていきたいと思っています。

